

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年11月 2日

事業所名 ハッピーテラス千駄木第二教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	100%	0%	0%		体調不良による休職者が出ましたが、すぐに新 しい職員(専門職経験者)の配置を行っています 2階への階段に手すりを設置しました
	②	職員の配置数は適切である	67%	33%	0%		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	67%	33%	0%		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	100%	0%	0%	第三者評価は行っていませんが、利用者アン ケートや自己評価を行い、その結果をホーム ページで公開しています。 月一度、3教室合同の研修会を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	100%	0%	0%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0%	33%	67%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	100%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	基本的に質問によるアセスメントを行っていま す。 プログラム案は必要に応じてスタッフ間で意見や アイデアを出し合い、より適切で効果的なプログ ラムになるよう工夫をしています。 朝の打合せ、療育後の振り返りを行っています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%	0%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	100%	0%	0%		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	67%	33%	0%		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	100%	0%	0%		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	100%	0%	0%		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	100%	0%	0%			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	ハッピーテラス独自のシステムを活用し漏れなく記録をしています。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	支援計画の見直しに合わせ、モニタリング、ケース会議を行っています。		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	67%	33%	0%			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%		・相談支援事業所との連携は基本的にケース担当者が行うようにしています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	0%		・第三教室をご利用していた方は前担当の指導員から情報共有、引継ぎを行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当なし					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	0%		・地域交流の活動はプログラムに取り入れていません。可能な範囲で地域で開催されるイベントなどを紹介しています	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	該当なし					
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%		・体系的なペアレントトレーニングは開催していません。その都度、療育後などにご相談があればお受けしています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	0%			
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	0%			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%	0%			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%	0%		年に一度、就学に関する情報共有会を開催しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		会報の発行は行っていませんが、各階に掲示板を設置し、お知らせがあれば掲示しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%	0%		
	③⑮	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		事業所の行事がないため、地域への公開の機会がありません。しかし、職員が積極的に地域の行事などに参加したり、朝の挨拶などを行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	0%		
非常時等の対応	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		マニュアルは各階に手に取って見ていただけるように置いています。現在、厚生労働省のBCP政策に沿ってマニュアルの改定を行っているところです。
	④⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	33%	67%	0%		虐待防止に関して、都や区が行う研修に参加し所内で伝達研修を行っています。
	④⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	④㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%		ヒヤリハットは3教室の管理者間で共有し、事故や怪我などが無いよう努めています。
	④㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%		
	④㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。